

平成 25 年度 活動報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

1. 平成 25 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 緑化推進・循環型社会構築、地域防災等に関わる社会貢献活動の普及・促進

2. 平成 25 年度の事業実績概要

今期は、設立から 10 年（平成 15 年 11 月 25 日設立）を経過するとともに、第 3 期 9 年目となる長野市リサイクルプラザの指定管理者業務、平成 23 年度から長野県より継続して受託している家庭の省エネを推進する事業『家庭の省エネサポート制度運営事業委託業務』（昨年度の「家庭の省エネ診断制度構築事業委託業務」の継続）を受託、さらに新エネルギー事業の普及を目指した。

また長野市緑と花いっぱい会、自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会の事務局支援を行うなど、他団体と協力し事業の幅を広げることができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに 9 名の職員（パート含む）を配置したほか、事務局職員 3 名（パート含む）の計 12 名の有給雇用職員の体制とした。また、長野県からの受託業務を実施するため、委託仕様書に基づきヘルプデスク 1 名、支援コーディネータ 1 名、支援スタッフ 3 名を雇用した（3 月末日まで）。

※平成 25 年 4 月 1 日より、定款第 20 条に基づき理事長が事務局長として宮下喬一（省エネコーディネータ）を任命（常勤雇用）した。

※4 月 1 日よりリサイクルプラザ職員 1 名を新規雇用した。

現在：プラザ 9 名（藤田、高島、戸谷、原田、丸山、北沢、木下、太細、中村）

事務局 3 名（宮下、中村、望月） _____ が社保のある常勤雇用者

支援コーディネータ宮下：ヘルプデスク柿崎

（参考 1 会員現況 平成 26 年 6 月 7 日現在）

1. 正会員（個人会員）	22 名
2. 正会員（法人会員）	11 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	11 名

合計 43 名（法人会員代表を含めた名簿登録者 60 名）

※正会員（個人会員） 2 名増 1 名減 正会員（法人会員） 1 名増

（参考 2 法人会員について）

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当 NPO 法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

25年度は、(1) 暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 (5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営、(6) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣、技術者派遣、(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政機関と協働で行う事業の8事業を行った。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

① イベントによる普及・啓発事業

『信州環境フェア 2013』、『ながの環境フェア 2013』などのイベントに、家庭の省エネ、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくり、ダンボール・木材によるクラフトなどの展示物や体験コーナーを出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2013/8/24 ～8/25	信州環境フェア2013	長野市ビッグハット	展示ブース体験者 131名
2013/9/15	ながの環境フェア2013	長野市清掃センター	全参加者 5,400名 ※指定管理者

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

① 県産材利用プロジェクト

地域産の木材の活用を普及させるため、『信州環境フェア 2013』などに展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

② 市民活動支援プロジェクト (エコドライブプロジェクト)

運輸部門のCO₂削減と、「環境」と「技術」の両分野に関わる技術者の育成を地域が支えながら実践していこうと、『エコマラソン 2013 長野』を開催した。第7回となる今回は、アクアパル千曲において全国大会に準拠した燃費計測会を行った。延 19 チームが参加、最も燃費の良かったチームは 143.86km/l という成績であった (※雨天により途中で中止となったことから、順位付け・表彰は行わず)。環境イベント“家族で楽しむエコフェスタ!”を同時開催し、自然エネルギーの展示、省エネクイズコーナー、ダンボールやペットボトルの世界で遊ぼうコーナーなど、楽しみながら体験できる展示を通じて普及啓発活動を行い、多くの参加 (延 760 人) があつた。長野県下水道ふれあいデーと同時開催とした。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2013/9/7	エコマラソン 2013 長野	アクアパル千曲	参加者 760 名

③ ESD (持続可能な開発のための教育) プロジェクト

『ダンボールの世界で遊ぼう!』や『家族で楽しむエコフェスタ!』など、子供たちが

楽しみながら環境学習できるプログラムづくりと運営を行った。本事業は関連する他の項目でまとめた。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①地域エネルギー事業者担い手育成事業委託業務

長野県（環境部）からプロポーザルで特定され受託した業務。長野県では、地域主導型の公益性のある自然エネルギー事業を普及させるため、事業の立ち上がりから事業実施・維持管理まで段階別の技術的、制度的、経営的知見等を有する人材と、地域の担い手とを結びつける中間支援機能を充実させることが大切であるとし、中間支援機能の一つとして、県内外の先進的な自然エネルギー事業に携わる専門家や有識者等の人材バンクシステムを構築するほか、関係法令等が整理された情報データベースの構築を行った。

②自然エネルギー信州ネット等の運営支援

自然エネルギー信州ネットの事務局長に、当NPO理事長を派遣したほか、自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会の事務局として運営支援を行った。

自然エネルギー長野北信地域協議会では、長野県の平成25年度「地域発 元気づくり支援金」を受け、長野地域と北信地域の『自然エネルギーハンドブック』と『同ガイドマップ』の作成を行った。長野市自然エネルギー普及協議会では、同じく平成25年度「地域発 元気づくり支援金」を受け、長野駅善光寺口駅前広場に太陽光発電街路灯を設置し、自然エネルギーの普及啓発を推進した。

(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①NPO活動促進プロジェクト

当NPOの活動を促進するうえで効果的な助成制度に2件応募し、2件が採択された。また、平成22年度からの継続として1件の寄付（家電・住宅エコポイント）を受け、平成25年度事業として実施した。※各事業の該当する項目でも説明する。

●平成25年度 長野市地球温暖化防止活動支援事業

申請先：長野市地球温暖化防止活動推進センター

【事業1】

テーマ：『家族で楽しむエコフェスタ！2013 エコな工夫で快適生活はじめてみましょう！』

内容：生活のなかに省エネ、自然エネルギー利用、リサイクルやゴミの減量化などを取り入れて、楽しくエコなライフスタイルをめざして、第6回となる『エコフェスタ！』を開催した。省エネやゴミの減量化などにスポットをあてた『エコフェスタ！』の他に、驚異の省燃費を誇る自作エコカーとみんなができるエコドライブの大会『エコマラソン長野』、そして省エネルギーや自然エネルギーを広める『自然エネルギーエコフェスタ』などのコーナーも開催した、総合的な環境イベントとなった。参加者が省エネ、自然エネルギー利用、リサイクルなどについて、楽しみながら学び、体験することを通じ、イベントでの体験や知識をライフスタイルに取り入れたエコな生活へとつなげていけるようなイベントを開催することができた。

助成額：200,000円 実施期間：平成25年9月7日

【事業2】

テーマ：『廃材アート2014 ダンボールびっくり箱で遊ぼう！！』

内容：長野市では「低炭素で効率的な暮らし」「環境保全意識の高い暮らし」を望ましい

姿とし(長野市地球温暖化対策地域推進計画より)、様々な活動を行って。また、全国的にもリサイクルやゴミの減量化への関心が高まるようになるなか、本事業では、イベントに参加することで、リサイクルやごみの減量化、省エネなどについて楽しみながら学び、体験することを通じ、イベントでの体験や知識を普段の生活に取り入れ、エコな工夫を取り入れた快適な生活へとつなげていく事を目的として、イベントを開催した。

助成額：200,000円 実施期間：平成26年2月9日～23日

●住宅エコポイント事業における環境寄付（平成22年度からの継続）

申請先：住宅エコポイント事務局

内容：エコポイントの活用による、普及促進事業について、事業に基づく環境寄付対象団体に応募し、採択となった。配分される寄付金額に応じて、森づくりなどの活動を実施した。住宅エコポイントについては、復興支援住宅エコポイントとして平成26年度以降も継続して実施。

助成額：57,345円（平成24年5月～平成25年4月入金分）

②技術支援業務

●長野市緑と花いっぱいの会

長野市緑と花いっぱいの会は、会員（62団体）の会費と長野市からの補助金を主な活動財源として、公共花壇を中心とした地域住民による緑化活動を展開するため、会員に対して花苗等の育成や技術向上のための講習会の開催などを実施している。平成22年度から事務局を担当し、都市緑化の実践活動を行っている団体の運営支援をしている。特に会員の使用する花苗は、春と秋の育苗活動で約4万株を配布し、長野市の緑育の重要な役割を担っている。

昨年度は、善光寺花回廊、長野市緑花まつりへの参加、宿根草に関する講演会開催と併せて「地域発 元気づくり支援金」を活用した『宿根草ガーデンを始めよう』を作成した。

(5) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①家庭の省エネサポート制度運営事業委託業務

長野県は第三次長野県地球温暖化防止県民計画において家庭省エネ施策の一つに位置付けられている「家庭の省エネサポート制度」に着手した。この制度は、エネルギー供給事業者が顧客訪問時に家庭の省エネについて一言アドバイスと簡易な診断をお願いする制度である。

電気(1社)、都市ガス(3社)、LPガス(11社)の15社のエネルギー事業者から応募があった。サポート事業者による事業が本格的に始まったのは9月からで、3月までの実績は、訪問しアドバイスを実施した件数は7,240件、簡易診断は125件であった。県は5年間で10万世帯のアドバイスを目標としている。昨年度に引き続き、県内各地で無料講習会を開催した。また、行政機関や市民団体などが開催する環境に関するイベント等にも参加し、普及啓発に取り組んだ。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013/4/1～ 2014/3/25	講習会	県内全域	31回 参加者 883人
2013/4/1～ 2014/3/25	イベント等	県内全域	16回 参加者 2,899人

②森の恵体験～森づくりと森のエネルギー利用促進

『薪づくり！森を育てよう！』イベント

このプロジェクトでは薪ストーブユーザーが間伐などで森を育てながら薪をつくることで地域に根ざした再生可能エネルギー資源循環を実現するとりくみを促進した。今年度は、茶臼山公園の工事で排出された伐採木を活用して、参加者がイベント期間内に現地で薪づくりを行った。多くの伐採木を木質バイオマスエネルギー（薪）にして活用することができた。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013/10/28 ～11/4	「薪をつくろう！森を育てよう」イベント	長野市茶臼山	参加者 17 名
2014/3/25 ～3/20	「薪をつくろう！森を育てよう」イベント	長野市茶臼山	参加者 28 名

(6) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野市などで開催された委員会や環境学習に講師を派遣し、活動支援を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013/5/28	長野市産業振興審議会	長野市役所	委員
2013/7/9	長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会	長野市ものづくり 支援センター	委員
2013/10/22	長野市地球温暖化防止活動推進センター運 営委員会	長野県環境保全協 会	運営委員
2013/11/15	長野市産業振興審議会 林業専門分科会	長野市役所	委員
2013/11/29	持続可能な街づくり-コンパクトシティー (ながのまち暮らしネット主催)	アイビースクエア	パネラー
2014/1/20	長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会	長野市ものづくり 支援センター	委員
2014/2/20	長野市バイオマスタウン構想推進協議会	長野市ものづくり 支援センターほか	協議会副会長 兼部会長

(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

環境フェアなどにおいて、雨水循環利用についての普及啓発活動を実施した。また、飯田機工(株)、長野都市ガス(株)への雨水ポンプ等の販売を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013 年度	雨水ポンプ等の販売	長野市、飯田市	2 件

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わり、地球温暖化防止・環境保全に寄与できる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及啓発に取り組んだ。また、飯山市内にペレットストーブ1基、ばていお大門（まちづくり長野）にペレットストーブ1基の設置を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013年度	ペレット（長野森林組合産）販売代行	事務局	2,426袋
2013/11/24	ペレットストーブ設置	飯山市内	1基
2014/01/30	ペレットストーブ設置	ばていお大門	1基

③信州の木利用加速化事業

新たな県産材利用拡大に寄与することを目的として、会員の長野森林組合、三建、電弘とともに工事現場用の『木製仮囲い』を製品化させ、工事期間中である長野市駅善光寺口駅前と新幹線飯山駅前にモデル的に設置し、製品化に必要なデータを収集しつつ、工事期間中の修景効果を高めるといふ木製仮囲いの効果を確認した。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013/10/29 ～ 2014/03/27	信州の木利用加速化事業	長野駅前（善光寺口）	Aブロック：約15m（H3.0） ・板張りデザイン Bブロック：約34m（H3.0） ・板張り、格子デザイン
2013/11/21 ～ 2014/03/27	信州の木利用加速化事業	新幹線飯山駅前	Aブロック：約10m（H3.0） ・板張り、格子、半丸太デザイン Bブロック：約38m（H1.5） ・板張りデザイン

本事業では、信州エコ資材製品推進協会（SEMPPS）の事業に協力し、長野駅善光寺口駅前広場においてベンチ8基（カラマツ製2基、スギ製3基、ヒノキ製3基）、木曽福島駅前に集成材利用の新デザイン製品6基の設置等の支援を行った。

④地域産木材の普及啓発活動

地域産の木材の活用を普及させるため、『信州環境フェア 2013』に展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。長野市リサイクルプラザにおいても、地元産木材の活用や古材の利用促進の常設コーナーを設けた。

- 『省エネ住宅スタイル』：省エネ住宅の提案から地域産木材を使いながらコストをおさえる工夫の提案
- 『小さな住まいのすすめ』：リフォームと同等程度の金額で建設可能な、小さくても高齢化社会にも対応した地域産木材を使った生活空間の提案
- 『古民家木材でつくる家づくり』：古民家木材の利用促進や古材利用の注意事項等

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2013/8/24 ～8/25	信州環境フェア2013	長野市ビッグハット	展示ブース体験者 131名

(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働でゴミの減量化とリサイクル促進を目的とした維持・管理・運営を行った。

①長野市リサイクルプラザ

リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、リサイクル広場での不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）に活動の場を提供した。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2013/4/1 ～2014/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 31,638名
2013/4/4 ～2014/3/29	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 12グループ)	長野市リサイクルプラザ	利用者 1,242名
2013/4/11 ～2014/3/20	ゆめ工房 2 1 体験講座 (8グループで 52 回開催)		参加者 582名
2013/6 2014/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)		参加者 98名
2013/5, 7, 9, 11 2014/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6 回開催)		利用者 3,660名
2013/4/19 ～2014/3/21	自主事業 30 回開催 (出前講座 1 回、追加講座 1 回)		参加者 1,581名
2013/8/2 ～2013/8/4	『ダンボールの世界で遊ぼう!』		参加者 3,200名
2014/2/9 ～2014/2/23	『廃材アート 2014』 不用品からのメッセージ		参加者 528名
2013/4, 5, 6, 9, 10, 11 2014/3	フリーマーケット 7 回開催 (共催)		参加者 10,100名
2013/9/15	ながの環境フェア 2013 開催 (共催)		参加者 5,400名

『ダンボールの世界で遊ぼう!』

資源や不用品に関心を持ち、資源の有効活用、ごみの減量化、リサイクルの促進につなげ、地球環境保全へと発展させていく目的でダンボールタウン制作委員会と共同で開催した。8月3日から5日まで開催し、延 3,200 名の来館者となり、夏休み期間中の子どもたちと家族が楽しくエコ体験することができた。

『廃材アート 2014』 廃材を利用したごみ減量化（環境）へのメッセージ

不用品を活用したアート作品により、ごみの減量化やリサイクルの促進を目的とした『廃材アート 2014』を、廃材アート実行委員会と共同で開催した。2月9日から23日まで出展者 17 組、出展作品 359 点で開催し、近年にない降雪ではあったが延べ 528 名の見学者となった。

2月16日（日）廃材アートを体験できるワークショップ（切絵）、2月23日（日）廃材アートを体験できるワークショップ（しおり切絵）・ダンボールびっくり箱であそぼうを開催し計 25 名の参加があった。不用になった品物をアートに通すことで、不用品や環境について感心を深めていただいた。